



## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月8日

上場会社名 株式会社ヨンキュウ 上場取引所 東  
 コード番号 9955 URL http://www.yonkyu.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠岡 恒三  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼経営企画課長 (氏名) 善家 富夫 TEL 0895-24-0001  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月21日 配当支払開始予定日 2019年6月24日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月24日  
 決算補足説明資料作成の有無: 無  
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	39,680	2.8	1,379	△21.5	1,659	△17.5	977	△21.8
2018年3月期	38,590	△4.3	1,757	14.5	2,011	9.7	1,249	13.8

(注) 包括利益 2019年3月期 706百万円 (△45.5%) 2018年3月期 1,294百万円 (△6.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	84.59	—	3.9	4.9	3.5
2018年3月期	108.29	—	5.1	6.2	4.6

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 6百万円 2018年3月期 -百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	35,007	25,590	73.1	2,213.87
2018年3月期	33,117	24,997	75.5	2,165.66

(参考) 自己資本 2019年3月期 25,588百万円 2018年3月期 24,995百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	909	△1,319	188	8,608
2018年3月期	1,233	△2,539	△418	8,827

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00	138	11.1	0.6
2019年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00	138	14.2	0.5
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00		12.8	

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,800	0.3	1,400	1.5	1,675	1.0	1,087	11.2	94.05

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期	11,592,995株	2018年3月期	11,576,134株
② 期末自己株式数	2019年3月期	34,709株	2018年3月期	34,392株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	11,553,486株	2018年3月期	11,536,253株

(注) 詳細は、添付資料16ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(連結損益計算書) .....	7
(連結包括利益計算書) .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(表示方法の変更) .....	13
(セグメント情報) .....	14
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
4. その他 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用所得環境などの改善を背景に景気は回復基調にあるものの、米中貿易摩擦や不安定な欧州情勢などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、養殖業界におきましては、昨年に引き続きタイ・ハマチなどの魚価は高値基調で推移いたしました。

当社グループの業績につきましては、「鮮魚の販売事業」は、魚価高により販売数量が伸び悩み、また、利益面では養鰻事業での稚魚仕入価格の高騰による生産コスト高の要因により減益となりました。一方「餌料・飼料の販売事業」は、配合飼料などの販売数量が伸びたことにより増収増益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は396億80百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は13億79百万円（前年同期比21.5%減）、経常利益は16億59百万円（前年同期比17.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は9億77百万円（前年同期比21.8%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

セグメントの名称	2018年3月期 連結会計年度 売上高 (百万円)	2019年3月期 連結会計年度 売上高 (百万円)	対前年同期比較	
			金額差異 (百万円)	増減率 (%)
鮮魚の販売事業	26,833	26,664	△169	△0.6
餌料・飼料の販売事業	11,723	12,987	1,264	10.8
その他の事業	33	28	△5	△15.0
合 計	38,590	39,680	1,090	2.8

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。

「鮮魚の販売事業」は、売上高は266億64百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント損失は3億7百万円（前連結会計年度は、セグメント利益4億86百万円）となりました。

「餌料・飼料の販売事業」は、売上高は129億87百万円（前年同期比10.8%増）、セグメント利益は17億54百万円（前年同期比33.4%増）となりました。

「その他の事業」は、売上高は28百万円（前年同期比15.0%減）、セグメント損失は7百万円（前連結会計年度は、セグメント損失17百万円）となりました。

なお、セグメント間の取引については相殺消去しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(総資産)

当連結会計年度末における流動資産合計は251億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億38百万円(2.6%)増加いたしました。これは主に仕掛品の増加(22億91百万円から30億47百万円となり、7億55百万円増加)、受取手形及び売掛金の増加(66億52百万円から67億97百万円となり、1億44百万円増加)、現金及び預金の減少(154億23百万円から145億4百万円となり、9億19百万円減少)、貸倒引当金の減少(△11億81百万円から△7億95百万円となり、3億85百万円減少)等によるものであります。

固定資産合計は98億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億50百万円(14.6%)増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加(39億45百万円から44億71百万円となり、5億25百万円増加)、投資有価証券の増加(39億23百万円から43億53百万円となり、4億30百万円増加)等によるものであります。

この結果、資産合計は350億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億89百万円(5.7%)増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債合計は71億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億23百万円(29.3%)増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加(27億82百万円から38億37百万円となり、10億55百万円増加)、短期借入金の増加(18億65百万円から25億65百万円となり7億円増加)等によるものであります。

固定負債合計は22億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億26百万円(12.6%)減少いたしました。これは主に長期借入金の減少(21億61百万円から17億89百万円となり、3億72百万円減少)等によるものであります。

この結果、負債合計は94億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億96百万円(16.0%)増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は255億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億93百万円(2.4%)増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加(193億24百万円から201億63百万円となり、8億38百万円増加)、その他有価証券評価差額金の減少(3億50百万円から79百万円となり、2億71百万円減少)等によるものであります。

この結果、自己資本比率は73.1%(前連結会計年度末は75.5%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は86億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億19百万円(2.5%)減少いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は9億9百万円(前年同期比26.2%減)となりました。

これは主に税金等調整前当期純利益の計上(15億87百万円)、仕入債務の増加(10億55百万円)、たな卸資産の増加(7億46百万円)、法人税等の支払額の増加(7億77百万円)等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は13億19百万円(前年同期比48.0%減)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出(10億76百万円)、投資有価証券の取得による支出(8億58百万円)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1億88百万円(前連結会計年度は4億18百万円支出)となり、これは主に短期借入金の増加(7億円)、長期借入金の返済による支出(3億72百万円)、配当金の支払い(1億38百万円)等によるものであります。

(4) 今後の見通し

当養殖業界は、依然厳しい経営環境が続いており、次期の連結業績予想は、売上高、利益共に前期比微増の予想としております。

以上のことから、次期の連結業績予想数字は、売上高398億円（前年同期比0.3%増）、営業利益14億円（前年同期比1.5%増）、経常利益16億75百万円（前年同期比1.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益10億87百万円（前年同期比11.2%増）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	15,423,985	14,504,321
受取手形及び売掛金	6,652,181	6,797,014
商品及び製品	482,827	464,002
仕掛品	2,291,342	3,047,288
原材料及び貯蔵品	18,225	27,931
短期貸付金	636,981	858,380
その他	210,109	270,020
貸倒引当金	△1,181,250	△795,685
流動資産合計	24,534,402	25,173,273
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	2,537,908	3,527,134
減価償却累計額	△1,373,830	△1,494,979
建物及び構築物 (純額)	1,164,078	2,032,155
機械装置及び運搬具	2,317,964	2,920,988
減価償却累計額	△1,686,640	△1,853,843
機械装置及び運搬具 (純額)	631,324	1,067,144
工具、器具及び備品	807,049	885,456
減価償却累計額	△642,042	△713,104
工具、器具及び備品 (純額)	165,006	172,351
土地	1,164,312	1,199,357
建設仮勘定	821,014	—
有形固定資産合計	3,945,736	4,471,009
無形固定資産	182,920	219,890
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	3,923,758	4,353,830
長期貸付金	554,501	583,697
投資不動産	656,228	657,848
減価償却累計額	△422,135	△429,706
投資不動産 (純額)	234,093	228,141
繰延税金資産	174,433	316,032
その他	340,498	320,875
貸倒引当金	△772,847	△659,446
投資その他の資産合計	4,454,436	5,143,130
固定資産合計	8,583,093	9,834,030
資産合計	33,117,496	35,007,304

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,782,081	3,837,275
短期借入金	1,865,625	2,565,625
未払法人税等	425,052	313,390
賞与引当金	21,576	22,547
その他	438,264	416,879
流動負債合計	5,532,600	7,155,717
固定負債		
長期借入金	2,161,875	1,789,375
役員退職慰労引当金	142,104	163,412
退職給付に係る負債	226,688	265,814
資産除去債務	27,558	34,901
繰延税金負債	29,618	7,758
固定負債合計	2,587,843	2,261,261
負債合計	8,120,444	9,416,978
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,200,517	2,213,567
資本剰余金	3,137,246	3,150,296
利益剰余金	19,324,680	20,163,473
自己株式	△17,881	△18,356
株主資本合計	24,644,562	25,508,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	350,945	79,530
その他の包括利益累計額合計	350,945	79,530
非支配株主持分	1,543	1,813
純資産合計	24,997,052	25,590,325
負債純資産合計	33,117,496	35,007,304



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	38,590,187	39,680,517
売上原価	33,226,553	34,826,560
売上総利益	5,363,634	4,853,957
販売費及び一般管理費	3,606,161	3,474,719
営業利益	1,757,472	1,379,237
営業外収益		
受取利息	128,447	105,095
受取配当金	70,901	83,446
投資不動産賃貸料	30,460	32,931
持分法による投資利益	—	6,968
受取賃貸料	33,598	11,794
その他	38,345	67,668
営業外収益合計	301,753	307,903
営業外費用		
支払利息	7,025	6,112
投資不動産賃貸費用	20,310	16,716
その他	19,901	5,271
営業外費用合計	47,236	28,099
経常利益	2,011,989	1,659,042
特別利益		
補助金収入	163,150	—
特別利益合計	163,150	—
特別損失		
固定資産除却損	20,154	—
減損損失	4,176	37,979
固定資産圧縮損	163,150	—
投資有価証券評価損	—	33,540
特別損失合計	187,481	71,519
税金等調整前当期純利益	1,987,658	1,587,522
法人税、住民税及び事業税	746,160	642,939
法人税等調整額	△7,991	△32,989
法人税等合計	738,168	609,949
当期純利益	1,249,489	977,572
非支配株主に帰属する当期純利益	217	279
親会社株主に帰属する当期純利益	1,249,272	977,293

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	1,249,489	977,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,467	△270,704
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△720
その他の包括利益合計	45,467	△271,424
包括利益	1,294,956	706,148
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,294,737	705,878
非支配株主に係る包括利益	218	270

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,187,615	3,124,344	18,213,676	△17,294	23,508,342
当期変動額					
新株の発行	12,902	12,902			25,804
剰余金の配当			△138,268		△138,268
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,249,272		1,249,272
自己株式の取得				△587	△587
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	12,902	12,902	1,111,003	△587	1,136,220
当期末残高	2,200,517	3,137,246	19,324,680	△17,881	24,644,562

	その他の包括利 益累計額	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金		
当期首残高	305,479	1,324	23,815,146
当期変動額			
新株の発行			25,804
剰余金の配当			△138,268
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,249,272
自己株式の取得			△587
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	45,465	218	45,684
当期変動額合計	45,465	218	1,181,905
当期末残高	350,945	1,543	24,997,052

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,200,517	3,137,246	19,324,680	△17,881	24,644,562
当期変動額					
新株の発行	13,050	13,050			26,100
剰余金の配当			△138,500		△138,500
親会社株主に帰属する 当期純利益			977,293		977,293
自己株式の取得				△475	△475
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	13,050	13,050	838,792	△475	864,418
当期末残高	2,213,567	3,150,296	20,163,473	△18,356	25,508,981

	その他の包括利 益累計額	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金		
当期首残高	350,945	1,543	24,997,052
当期変動額			
新株の発行			26,100
剰余金の配当			△138,500
親会社株主に帰属する 当期純利益			977,293
自己株式の取得			△475
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△271,415	270	△271,144
当期変動額合計	△271,415	270	593,273
当期末残高	79,530	1,813	25,590,325

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,987,658	1,587,522
減価償却費	361,931	559,140
減損損失	4,176	37,979
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	27,212	21,308
賞与引当金の増減額 (△は減少)	777	971
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△46,852	△498,967
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	18,455	39,126
受取利息及び受取配当金	△199,348	△188,542
支払利息	7,025	6,112
持分法による投資損益 (△は益)	—	△6,968
固定資産売却損益 (△は益)	△2,837	△8,624
固定資産除却損	24,228	2,287
固定資産圧縮損	163,150	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△12,169	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	33,540
投資不動産賃貸収入	△30,460	△32,931
投資不動産賃貸費用	20,310	16,716
補助金収入	△163,150	—
売上債権の増減額 (△は増加)	68,961	△337,150
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,197,513	△746,827
仕入債務の増減額 (△は減少)	520,120	1,055,193
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△162,248	△23,820
その他	78,139	△22,013
小計	1,467,568	1,494,052
利息及び配当金の受取額	200,336	199,046
利息の支払額	△5,750	△6,512
法人税等の支払額	△592,252	△777,107
補助金の受取額	163,150	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,233,051	909,478
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△99,700	699,830
投資有価証券の取得による支出	△458,670	△858,537
投資有価証券の売却による収入	12,376	—
有形固定資産の取得による支出	△1,746,755	△1,076,384
有形固定資産の売却による収入	2,537	9,694
無形固定資産の取得による支出	△151,672	△81,253
投資不動産の取得による支出	—	△1,620
投資不動産の賃貸による収入	30,460	32,931
投資不動産の賃貸による支出	△12,442	△9,145
貸付けによる支出	△867,164	△719,370
貸付金の回収による収入	766,746	684,719
その他	△15,544	△651
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,539,829	△1,319,786

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	700,000
長期借入金の返済による支出	△279,375	△372,500
自己株式の取得による支出	△587	△475
配当金の支払額	△138,293	△138,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	△418,255	188,425
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,583	2,048
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,727,617	△219,833
現金及び現金同等物の期首残高	10,555,502	8,827,885
現金及び現金同等物の期末残高	8,827,885	8,608,052

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」174,214千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」174,433千円に含めて表示しております。

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外費用」の「固定資産除却損」は、営業外費用の総額の100分の10以下のため、当連結会計年度においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」の「固定資産除却損」に表示していた4,073千円は、「その他」として組み替えております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、養殖漁業の総合支援事業を展開しており、当該セグメントは、その取り扱う製品・サービス別のセグメントから構成し、「鮮魚の販売事業」及び「餌料・飼料の販売事業」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類は以下のとおりであります。

- ・「鮮魚の販売事業」は、主にタイ、ハマチ、カンパチ、雑魚（天然魚含む）、稚魚、人工ふ化稚魚、加工品、マグロ、ウナギ等の販売であります。
- ・「餌料・飼料の販売事業」は、主に生餌、配合飼料、モイストペレット等の販売であります。
- ・「その他」は、連結子会社の一般貨物運送事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

当該報告セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等に準じて処理したものであります。

セグメント利益又は損失（△）は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	26,833,557	11,723,052	38,556,609	33,577	38,590,187	—	38,590,187
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	423,882	423,882	178,455	602,338	△602,338	—
計	26,833,557	12,146,935	38,980,492	212,033	39,192,526	△602,338	38,590,187
セグメント利益又は 損失（△）	486,148	1,314,576	1,800,724	△17,909	1,782,814	△25,342	1,757,472
セグメント資産	7,850,473	5,535,220	13,385,693	49,223	13,434,916	19,682,579	33,117,496
その他の項目							
減価償却費	292,527	29,518	322,046	20,455	342,502	27,297	369,799
貸倒引当金繰入額	72,760	△119,613	△46,852	—	△46,852	—	△46,852
特別利益	—	163,150	163,150	—	163,150	—	163,150
(補助金収入)	—	163,150	163,150	—	163,150	—	163,150
特別損失	—	163,150	163,150	—	163,150	24,331	187,481
(減損損失)	—	—	—	—	—	4,176	4,176
(固定資産圧縮損)	—	163,150	163,150	—	163,150	—	163,150
有形固定資産及び 無形固定資産の増加 額	709,726	205,648	915,375	—	915,375	17,496	932,871



当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	26,664,185	12,987,795	39,651,980	28,536	39,680,517	—	39,680,517
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	579,472	579,472	197,832	777,304	△777,304	—
計	26,664,185	13,567,267	40,231,453	226,369	40,457,822	△777,304	39,680,517
セグメント利益又は 損失 (△)	△307,010	1,754,183	1,447,173	△7,474	1,439,698	△60,460	1,379,237
セグメント資産	8,831,757	6,119,180	14,950,938	37,530	14,988,469	20,018,834	35,007,304
その他の項目							
減価償却費	450,044	80,097	530,141	20,455	550,597	27,319	577,916
貸倒引当金繰入額	△55,493	△330,090	△385,583	—	△385,583	—	△385,583
持分法による投資利益	6,968	—	6,968	—	6,968	—	6,968
特別損失	37,979	—	37,979	—	37,979	33,540	71,519
(投資有価証券評価損)	—	—	—	—	—	33,540	33,540
(減損損失)	37,979	—	37,979	—	37,979	—	37,979
有形固定資産及び 無形固定資産の増加 額	1,463,603	444,040	1,907,644	—	1,907,644	71,918	1,979,563

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の一般貨物運送事業であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント利益又は損失 (△)	△25,342千円	△60,460千円
セグメント間取引消去における内部利益	△30,338	△65,616
その他調整額	4,996	5,155
セグメント資産	19,682,579千円	20,018,834千円
本社管理部門に対する債権の相殺消去	△1,662,887	△2,777,978
報告セグメントに属さない全社資産	21,345,467	22,796,813

3. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
1株当たり純資産額 2,165.66 円	1株当たり純資産額 2,213.87 円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	24,997,052	25,590,325
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	1,543	1,813
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	24,995,508	25,588,511
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (千株)	11,541	11,558

2. 1株当たり当期純利益

前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益 108.29 円	1株当たり当期純利益 84.59 円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,249,272	977,293
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,249,272	977,293
期中平均株式数 (千株)	11,536	11,553

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### 役員の変動

- ① 代表取締役の変動  
該当事項はありません。
  
- ② その他の役員の変動
  - ・ 新任取締役候補  
取締役 宇都宮 紀 (現 総務部長)
  - ・ 新任監査役候補  
(非常勤) 監査役 日野 正浩
  
  - ・ 退任予定監査役  
(非常勤) 監査役 中山 孝司
  
- ③ 就任及び退任予定日  
2019年6月21日